

AIの時代、人間の役割に悩む



『NEXUS 情報の人類史 上・下／ユヴァル・ノア・ハラリ 著 柴田 裕之 訳／河出書房新社 2025年』

著者紹介	イスラエルの歴史学者、哲学者。
本の内容	「NEXUS」は、情報が人間同士を結びつけることで、社会秩序、権力構造、信念体系がどのように生まれ、維持されてきたかを歴史的に考察する一冊である。文字や宗教、国家と官僚制、マスメディアを経て、現代のアルゴリズムやAIへと至る「つながり(nexus)」の進化を軸に、意思決定は誰が担ってきたのかを問い直す。AIが判断を代替しつつある時代に、人間の自由、責任、主体性の行方を鋭く照らし出す。
こんな人に読んでほしい	AI社会における人間の役割を考察したい学生。
おすすめコメント	技術を使う人ではなく、技術を理解して判断する人になりたい学生のための一冊。

配置場所は[こちら](#)↓